

評価基準

様式	評価項目	評価の着目点	評価基準	配点	評価手法
様式 3	業務実績	成果の確実性	同種業務の実績について 2 件以上有している場合に優位に評価する。	10	①
様式 4－1	実施体制	成果の確実性	配置予定の管理技術者が同種業務の実績について 2 件以上有している場合に優位に評価する。	10	①
任意様式	実施方針	業務理解度	業務の目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	15	②
		実施手順	業務の実施手順、工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	15	②
	技術提案のテーマ	的確性	着目点、課題、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	25	③
		実現性	提案内容が具体的で説得力がある場合、類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	25	③
様式 6	見積金額	見積の妥当性	見積金額が委託金額の上限額を超えている場合は特定しない。	—	
評価点合計				100	

【評価手法①】

2 件以上	10 点
1 件	5 点

【評価手法②】

特に優れている	15 点
優れている	12 点
標準	9 点
やや劣っている	6 点
劣っている	3 点

【評価手法③】

特に優れている	25 点
優れている	20 点
標準	15 点
やや劣っている	10 点
劣っている	5 点